

"しんじ"を信じる 京都府議会議員 二之湯真士事務所 編集・発行

ニノ湯真士通信

第2号

〒616-8167
京都市右京区大森多藪町44-1
TEL : 075-862-1355
FAX : 075-862-1350
e-mail : ninoyushinji@palette.plala.or.jp

～今こそ、伝統が未来を拓く!～

若葉が鮮やかなすがすがしい季節を迎え、皆様にはご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。平素は私の政治活動にひとかたならぬご指導を賜りまして、誠に有難うございます。

さて、私の議員活動も2年目を迎えました。当選して間もない頃は、両親と同世代の方からも「先生」と呼ばれることに戸惑いました。「自分が偉くなったのではない。議員という身分のためだから、これまで謙虚でなくては」と自分に繰り返す言ひ聞かせてきました。この心がけは大切ですが、同時に近頃は「先生と呼ばれる立場にあることの自覚と誇りを強く持たなければ」と思っています。「皆様の付託を受けた代表」というこの意味が腑に落ちてきたからです。

府議会議員は、右京区民20万人に5人、京都府民260万人に62人、つまり府民約4万人に1人の代表であり、京都府に大きな責任を持っています。謙虚さはいくつになっても大切ですが、議員としての責任にも年齢は関係ありません。若くても議員であれば大きな責任があります。しかし、「自分も若輩だから」という意識が強すぎると、いつも何かに遠慮し、議員としての職責を十分に果たせなくなりかねません。それでは本末転倒だと言いますし、



若くとも堂々と、皆様の代表として頑張ります

私もそう思います。今までの発想にとらわれない青年議員こそ、その転換を成し遂げる原動力にならねばなりません。そこに期待をして私に投票をしてくださった方はたくさんおられるはずですが、私は皆様の代弁者たる府議会議員として、京都府ひいては国家のために働くのだとの基本に立ち返り、必要以上に「若い」とか「新人」ということで遠慮することなく、皆様との一体感を大切に「私がやらねば」の意気込みで日々一生懸命頑張ります。

皆様と一体感を持つために、住民の視点を大切にしたいと思えます。その住民視点から見ると、生活の場にはまだまだ縦割り行政による弊害があります。確かに、組織で効率的に業務を行うためには縦割りはやむを得ないところもありますが、生活の場には様々な行政施策によって解決されるべき諸課題が混在しています。例えば京都府では、知事・副知事あるいは財政課の管理職クラス等でない限り、総合的に課題に対応できる立場にありません。ですから、その是正は、まさしく議員の仕事です。しっかりと取り組んで参りたいと思えます。

また、国・府・市という異なる役所の間での協調も不十分どころが多くあります。しかし、住民から見れば、国・府・市の全ては「行政」であり、区別はないのです。これも同様に取り組まなければならぬ課題だと思えます。特に、私は右京区選出の議員として、府市協調のもとで府市を補完するという役割に徹し、「二重行政を排する」という課題にも取り組まなければなりません。例えば、府と市が、業務を共同化あるいは一本化したり、それぞれが保有している資産や情報を共有し限られた資源を有効活用したりすることは、ともに財政が悪化している中で、将来世代を含めた住民負担を軽減するための重要な取り組みです。その取り組みを進めることは、国・都道府県・市町村の役割分担を見直し、来るべき道州制などの抜本的な行政改革の在り方を考える上でも大切です。

私のような青年議員は、従来の常識や慣習に疑問を持つたら多少稚拙であっても率直に意見を述べることが許される立場です。それによって、党や議会が活性化し、世の中が良くなるのだと思えます。こうした気持ちでこれからも一生懸命頑張りますので、引き続きのご指導・ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

ホームページもご覧下さい!
URL : www.ninoyu.net

◆ブログなども活用し、この紙面ではご紹介しきれない日々の活動、私の素顔などもお伝えできればと思います。是非ご覧下さい。

◆携帯電話用のメールマガジンの配信も行っております。ご登録は、HPもしくは右のQRコードからお願いします。

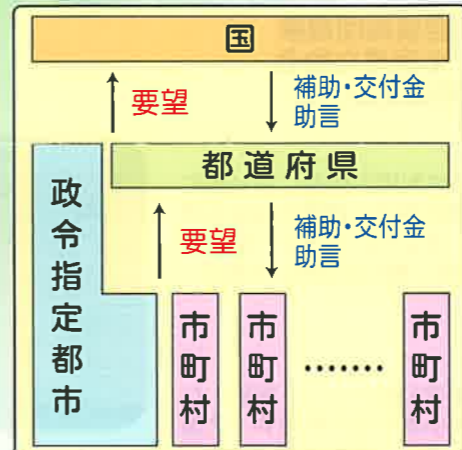
ビデオの貸出を致します!

◎TV文芸常任委員会「京都府の大学改革」(KBS京都、1月20日放映)
◎2月定例会、本会議一般質問「京都府の山づくりについて」(2月22日)のビデオをお貸し致します。ご希望の方は、事務所までお問い合わせ下さい。なお、本会議一般質問の様子は、京都府議会のHPでもご覧いただけます。京都府議会ホームページ：
<http://www.pref.kyoto.jp/gikai/>

<色々な形で活動をお伝えします。皆様からもご意見や感想をお願い致します。>

私たちの京都府

生活に密着した、例えばゴミ処理や上下水道、保育園や小中学校、国民健康保険などは市町村の仕事です。また、税制や法律、外交などは国の仕事です。その間にあって、都道府県の仕事は、特に政令市・京都市民にとっては見えにくいものです。大雑把に言えば、下の図のように、都道府県は全市町村の代表として国と交渉し、予算をもらいます。また、市町村単独では難しい大規模な事業に対する補助や市町村をまたがる「高等学校、河川改修、森林整備、警察行政、医療」などが都道府県の主な仕事です。この紙面で継続的に京都府の仕事を紹介し、皆様と一緒に将来の京都府を考えていきたいと思います。



私たちの右京区

今年に入ってから、地下鉄「太秦天神川駅」、新右京区総合庁舎(サンサ右京)、嵐電天神川駅、太秦交番などが相次いで完成し、太秦東部地域は大きく様変わりしました。また、JR山陰本線(花園駅・太秦駅)の高架化で3力所の踏切がなくなり、渋滞が緩和されました。今後も、様々な基盤整備が進められる右京区。便利になることも新たな課題も生まれてくると思います。色々な出来事をこの紙面で取り上げ、皆様と一緒に将来の右京区を考えていきたいと思います。



第1回 ニノ湯しんじ後援会ボウリング大会

◇とき：平成20年6月29日(日) 10:00～お昼すぎ
◇場所：しょうざんボウリング 北区衣笠鏡石町47
◇参加費：2,000円
◇定員：100名程度
◇お申込みは、6月20日(金)まで
当日は9:50までに現地に集合してください。
なお、参加者には追って詳細をお伝えします。
お申込み・お問い合わせは、二之湯真士事務所まで

皆様とのふれあいを大切にします

議員は、日頃より色々な方と接する中で、多くの思いや考えを受け止める必要があります。そのためには、スポーツや旅行、食事などを通じて、皆様と楽しく接する機会は大切です。今年から私を支えてくださる後援会が色々な行事を企画してくださる予定です。その初めとして、左記の通りボウリング大会が開催されます。ご家族・ご友人をお誘い合わせのうえ、ふるってご参加くださいますよう、宜しくお願い申し上げます。

◆ついに語り合いまじゅう!

ニノ湯しんじは、教育のこと、環境のこと、福祉のこと、地域のこと、そして京都や日本の未来のことなど、皆様とお話をできる場をたくさん作っていきたく考えています。時間や場所、人数は問いません。どのような会でも結構です。皆様のお声を聞かせてください。

◎お問い合わせは、二之湯真士事務所まで

事務所へお気軽においで下さい

右京区大森多藪町44-1 (大映通り)
TEL 075-862-1355
FAX 075-862-1350

皆様にとって、国と京都府・市町村の仕事の役割分担は分かりにくいものです。「どこに相談に行けばいいのかわからない」とお悩みになる前に、私の事務所を行政の総合窓口としてご利用下さい。地域やNPOなどの団体での取り組みや課題などについても、色々ご相談下さい。

5月の主な活動

- 1日：洛西日本中国友好協会総会
- 7日：府立北桑田高校視察
- 10日：京都府立大学公開講座、京都府日本中国友好協会総会
- 12日～13日：文教委員会管外視察
- 14日：自民党府議会議員団会議、京都府財政の勉強会
- 17日：自民党京都府連第59回定期大会
- 18日：右京区消防団総合査閲、太秦学区グランドゴルフ大会
- 20日：京都府環境整備事業協同組合との意見交換会
- 21日：5月議会本会議
- 22日：5月議会 文教常任委員会・京都再生・ブランド戦略特別委員会
- 23日：5月議会本会議、総務常任委員会、地球温暖化対策特別委員会、京都市日本保育協会との懇談会
- 24日：京都府立大学公開講座、大映通り商店街総会・懇親会
- 26日～27日：自民党府議会議員団視察
- 28日：他府県の若手議員との意見交換会
- 30日：京都府たばこ商業協同組合総代会

活動報告

4月の主な活動

- 4日：京都府立医科大学入学式
- 7日：京都府立大学入学式
- 8日：府立聾学校入学式、嵯峨野高校入学式
- 9日：京北地域の農地・農業用水路の視察
- 12日：京都府相撲連盟懇親会
- 13日：右京少年野球振興会父母総会
- 14日：自民党府議会議員団会議
- 15日：宅地建物取引業協会第3支部総会
- 18日：京丹後市長選・市議選、事務所激励
- 20日：陰陽流拳法空手道武道大会
- 21日～23日：日韓親善京都府議会議員連盟視察
- 25日：「源氏物語千年紀展」開会式
- 26日：京都府再資源化事業協同組合主催講演会
- 28日：太秦交番落成式

◆7日：府立北桑田高校視察

中国陝西省での植林や輸送で出るCO₂削減のためにも地元産材の利用の促進に取り組む「森林リサーチ科」を視察。大自然と向き合いゆったりとした時間の中で、座学のみならず体で学ぶことを通じ、生徒達は遅く成長していくことを実感しました。写真は、京都大学が研究・開発したJ-pod工法による間伐材を利用した耐震性に優れた建物。外側は、京北らしく磨き丸太を使用しています。



◆12日～13日：文教委員会視察（山口県・岡山県）

「早寝・早起き・朝ご飯」という生活の改善と「百マス計算・漢字の書き取り・音読」などの基礎学習の徹底を通じて、大幅な学力の向上が見られた山陽小野田市の教育や、全国で入館者数第1位を保持する岡山県立図書館などを視察。岡山県の学芸館高校では、厳しい生活指導や地域貢献活動を通じて生徒の規範意識が向上した良好な学習環境の中で、一人一人の目標達成を後押しする学校現場を視察しました。

◆14日：自民党府議会議員団1期・2期合同勉強会

京都府の財政は、世界的に活躍する地元企業等からの法人税は増加しましたが、国の財政再建によって地方交付税が大幅に減らされ、大変厳しい状況です。今後の債務返済などを考えると改革は待ったなしですが、支出の多くは府内全市町村の教職員や警察官の給料です。世相を反映して関心が高まっている「教育と治安」関連の支出を削減するのか、あるいはそれ以外の方法があるのか、これからの府政の重要課題です。

第59回定期大会



◆17日：自民党京都府連定期大会（大会アピール）

若手の議員を代表して、「衆参のネジレ現象で国会が機能不全に陥っているが、その被害者は国民である。我が党は、国民生活に直結する諸課題が山積する今、政権政党として国民に希望の灯りを示しつつ、この難局を乗り切る気概を示すべきだ。そして党全体が一致団結し、来るべき総選挙に備える必要がある。」という主旨の大会アピールを読み上げました。



◆26日～27日：自民党府議会議員団視察

○京都木材加工センター

府内では輸送コストなどが高く、間伐材の3割しか加工・利用されていません。林業を取り巻く大変厳しい状況はもまだに続いています。

○宮津・丹後の海で

昭和40年代に始まったマダイの栽培漁業（稚魚を放流）が成果を上げ、漁獲量が放流開始前の約1.6倍に増加。釣り人の増加による地元経済の活性化にも期待が膨らみます。

◆その他、里山の耕作放棄地で鳥獣の被害を防ぐために牛を飼っている舞鶴「かわべ牧場」、平成16年10月の台風23号で甚大な被害が出た宮津市の大手川改修事業、我が国の平和のために日本海の防衛を担ってくれている舞鶴の海上自衛隊、京都府に電気を供給してくれている高浜原子力発電所（福井県）を視察しました。

◆18日：京丹後市の市長・市議会議員選挙の各候補を激励訪問

自民党青年局を代表し、自民党推薦の市長候補（中山泰氏）と青年局所属の市議会議員候補の各事務所を激励訪問しました。同月28日実施の選挙では全員が見事に当選を果たしました。

◆21日～23日：韓国視察

○韓国の国会議事堂にて

一院制ですが、選挙は日本の衆議院と同じく小選挙区比例代表並立制。ただし比例代表の当選者は男女同数になる仕組みになっています。

○国立墓地「顕忠院」へ

朝鮮戦争の犠牲者を中心に国のために亡くなった人々をまつています。これが世界の常識です。後世の国民が先人の遺志をどれだけ引き継いでいるかが、国力の一つの指標だと感じました。

○韓国と北朝鮮の間の軍事境界線上にある板門店で韓国軍兵士と

ここは半ば観光地化していますが、韓国と北朝鮮はまだ停戦状態に過ぎず、この軍事境界線を含む非武装地域に到着するまでに数々の軍事施設や訓練に励む韓米軍の兵士を見ました。「国を守る」ことの意味を改めて考えさせられました。



◆25日：「源氏物語千年紀展」開会式

『紫式部日記』の1008年11月1日の箇所から、当時すでに広く源氏物語が読まれていたことが分かりました。そこで今年を『源氏物語』誕生の1000年目の記念すべき年と定め、関連行事が多く催されています。4月26日から京都文化博物館では多くの国宝や重要文化財を集めた「源氏物語千年紀展」が開催されていますが、前日には開会式が行われ出席しました。展示は、『源氏物語』が後世の日本の文化・芸術に与えた影響の大きさが非常によく分かる内容です。



◆28日：太秦交番落成式

地元住民の長年の念願であった太秦交番（受け持ちは太秦・南太秦両学区）が、サンサ右京の北側に京都市の敷地を借りて開設されました。太秦学区の住人である私は府議会議員を代表し「交番としっかり連携して、皆様の自主的な防犯や交通安全の活動が一層充実し、今まで以上に安心で安全な街づくりを進めて頂きたい。私も地元の府議会議員として一生懸命頑張ります」と祝辞を述べました。